

公共政策大学院 におけるFD

公共政策大学院の特徴

専門職大学院：研究者養成の大学院
や学部との相違

- 少人数教育
- 学生の将来ビジョンが比較的明確
- 講義形式の授業がメイン
- 社会人が多数

FDの状況(2010年度FD会議)

- 第1回(7月22日)
 - 成績と就職先の相関関係
 - 外部評価、学生からの要望のまとめ
 - 授業評価のまとめ
- 第2回(10月28日)
 - 前期授業評価結果について
 - 前期の科目別評価割合
 - 学生からの改善要望事項について

授業評価への対応

- ・改善要望事項のうち、共通事項は来年度の教授事項の手引きに反映
- ・授業評価後の授業において、各教員がコメント
- ・前年度の授業評価について、新年度の授業の冒頭でコメント、対応策の提示

その他

- ・目安箱への要望に基づく授業の開講
- ・月1回部長室の開放～院生との懇談

公共政策の抱える課題

- 新しい学問分野
⇒教員研修についての知見の蓄積がない
- 非常勤教員が多い
(FD会議に参加しない)
⇒如何にして、FDについての姿勢を共有するか

全学に提供可能と思われる知見

- 少人数教育のみ



教員と院生との日常的コミュニケーション
によるフィードバック

全学に期待する支援

- 事務作業の負担軽減
授業評価の自由記述について、
教員にフィードバックする際の入力等